アルミニ次合金

8月出荷3カ月連続減

ダイカスト減など響く

日本アルミニウム合金協会がこのほど発表した、8月のニ次地金とニ次合金などの出荷量は前年同月比6・3％減の5万8927㌧と、3カ月連続のマイナスだった。板や押出は昨年の落ち込みによる反動増などからプラスとなったが、ダイカストや鋳物の減少が響いた。

生産量は4・2％減の5万7406㌧と、8カ月連続で前年同月を下回った。自動車の国内生産台数が2カ月ぶりのマイナスとなったことが響いた。

板は前年同月比1・8％増の4362㌧と、4カ月ぶりのプラスとなった。昨年からの反動増とみられる。

昨年は下落基調が鮮明だったロンドン金属取引所（LME）のアルミ相場だが、今年はレンジ相場が続いていることなどから、一部でアルミ缶再生地金（RSI）の引き合いがあったようだ。ただ、全般的に需要はさえなかった。

押出は、1年2カ月ぶりに前年同月比プラスとなった。8月は2・0％増の1688㌧。昨年に対前年同月比15・9％減と大きく落ち込んだ反動増とみられる。

産業部門別の出荷を見ると、主力のダイカストは前年同月比9・2％減の3万1592㌧にとどまった。鋳物は4・5％減の1万4456㌧だった。

原料の総受入量は前年同月比6・2％減の7万7548㌧と、4年3月ぶりの低水準にとどまった。メーカーの生産が伸び悩んでいることや、盆休みなどで稼働日が少なかったことが影響したようだ。新地金が前年同月比8・3％増の513㌧と、原料の一部を地金で手当てする動きもあったとみられる。

合金くず板系統は前年同月比6・6％減の2万7163㌧、合金くず鋳物系統は9・8％減の1万8870㌧、ベースメタルは9・9％減の9116㌧、アルミくずは1・0％減の6394㌧、ドロス・灰は0・3％減の5709㌧と、それぞれ減少した。

アルミニウム合金地金等生産

（単位：㌧、％）

	2019年8月	前年同月比
生産計	57,406	⊖4.2
出荷計	58,927	⊖6.3
鋳物	14,456	⊖4.5
ダイカスト	31,592	⊖9.2
板	4,362	1.8
押出	1,688	2.0
鉄鋼	4,548	0.5
合金地金	2,075	⊖8.5

原料別使用量	受入	消費
新地金	5,134	4,249
ベースメタル	9,116	8,248
アルミくず	6,394	6,312
合金板系統	27,163	24,404
合金鋳物系統	18,870	18,186
ドロス・灰	5,709	5,372
金属ケイ素	3,104	2,819
その他	2,058	2,092
合計	77,548	71,682

日本軽金属

固体水素化ホウ素ナトリウム

新製法で合成に成功

日本軽金属（本社＝東京都品川区、岡本一郎社長）はこのほど、産業技術総合研究所と共同で、ホウ砂とアルミニウムを用いた水素化反応による固体水素化ホウ素ナトリウム（SBH）の新しい合成方法の開発に成功したと発表した。静岡県先端企業育成プロジェクト推進事業の助成を受けて開発。今後は量産技術を確立し、ケミカル剤市場への新規参入を目指す。

SBHは強い還元作用を持つケミカル剤。既存の工業製法では、反応性が高く危険な金属ナトリウムを主原料とし、精製にアンモニアを用いるため高コストの薬剤となっている。新製法で安価に大量生産ができる可能性がある。

使用後はメタホウ酸ナトリウムになるが、新製法でSBHに再生できることを実験で確認した。

フジクラ

RE100加盟を発表

長期ビジョン達成へ加速

フジクラは7日、国際的な環境イニシアチブで、事業活動で使用する電力を再生可能エネルギー100％にすることを目標とするRE100に加盟したと発表した。再生可能エネルギーの導入を進め、「フジクラグループ長期ビジョン2050」達成を加速する方針だ。

RE100は世界で最も影響力のある環境イニシアチブでメンバーは情報技術から自動車製造までさまざまな分野で事業を展開。クリーンな経済への移行を加速させるためエネルギー政策の立案者と投資家に再生可能エネルギー導入を促す活動を行っている。

フジクラは2016年に「フジクラグループ環境長期ビジョン2050」を制定。環境負荷の最小化に向け、工場CO_2排出総量「2050年ゼロチャレンジ」をはじめ工場の水使用の最小化と排水管理、工場の人と自然の共生、資源の有効活用と資源循環に取り組むとしている。

11月に創立30周年講演会

メタル研「非鉄の役割・展望」

日本メタル経済研究所（中里佳明会長〔住友金属鉱山会長〕、川口幸男理事長）は11月13日、創立30周年記念講演会「新時代へ向けた非鉄金属産業の役割と展望―第4次産業革命や自動車産業の大変革期に向けて―」を東京で開催する。

・六本木で開催。非鉄金属産業に関わる日本と中国の要人5人を講師に招き、参加者とも意見を交換する。創立記念のレセプションも同会場で開催する。

日本からは中里会長、トヨタ自動車の松山洋司調達本部副本部長、経済産業省の大東道郎鉱物資源課長が登壇する。中国からは中国有色金属工業協会の尚福山副会長、銅製錬大手の東営方圓有色金属の崔忠祥董事長を招く。日中両国の非鉄金属産業の現状と展望を考察し、新時代の事業展開を考える。

中国語から日本語への同時通訳あり。

▽日時＝11月13日午後2時―5時30分（記念レセプション午後6時―7時30分）

▽会場＝東京都港区六本木3―2―1住友不動産六本木グランドタワー9階 ベルサール六本木グランドコンファレンスセンター

▽参加費＝メタル研会員、招待者、関係省庁、大学は無料。非会員は1人1万円（記念レセプション代込み）（正会員・賛助会員の子会社・関連会社は非会員扱い）

▽定員＝230人

▽申込期限＝10月18日

▽申込方法＝メタル研ウェブサイト（http://www.merij.or.jp）トップページから開催概要をダウンロードし、3枚目の申込様式をikeda@merij.or.jpかmerij@merij.or.jpへEメール、もしくはFAX03―5545―7505へ

日刊産業新聞ネット版 http://www.japanmetal.com

希土類（レアアース）価格

（CIF日本、純分99％、キロ当たりドル）

	10月8日	9月平均
酸化ランタン	2.40	2.40
酸化セリウム	2.40	2.40
酸化プラセオジム	55.00	55.00
酸化ネオジム	45.00	45.00
酸化サマリウム	2.35	2.35
酸化ユウロピウム	35.50	35.50
酸化テルビウム	570.00	570.00
酸化ジスプロシウム	270.00	270.00
酸化イットリウム	3.90	3.90
金属ネオジム	56.00	56.00
金属ジスプロシウム	370.00	370.00
金属プラセオジム・ネオジム	56.00	56.00

マーケットを読む Market Trends Analysis

19年度下期市況見通し④

アルミ

1700ドル付近で底堅い展開

神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 原料部長 宮嶋渉氏

上期の市況は米中貿易摩擦の激化などで市場全体のセンチメントが悪化する中、ファンダメンタルズは材料視されずに売り込まれた面が強い。2019年の世界需給は依然として若干の供給不足になりそうで、LMEと上海先物取引所を合わせた在庫は足元120万㌧台まで減少しており、これは過去10年で見ても低水準だ。

アルミ地金の生産コストがトン1700―1900㌦あたりと考えれば、足元の1700㌦台ではコスト割れの製錬所も多いとみられる。下期も上期と同様に1700㌦付近では底堅いと予想する。

一方で直近の需要自体はアジア、欧米とも総じて弱い。ブラジルのアルノルテ、アルブラスの減産解除や、中東リスクの高まりといった弱材料もある。米中協議の進展などで景況の不透明感が払しょくされる材料が出れば4月の高値1900㌦台に近いレベルへ戻す可能性はあるが、2000㌦を上抜けるような力強さには欠ける。

アルミ

底値圏も上値試す材料欠く

野村証券経済調査部 シニアエコノミスト 大越龍文氏

ロンドン金属取引所の3カ月物は、トン1700―2000㌦を予想する。今が底値圏とみるが、上値を試す強材料が見当たらない。

世界における需給格差を見ると、中国の減産などを背景に足元で供給不足が拡大している。1―6月の一次アルミ消費は前年比4・0％増だが、生産は3・5％増にとどまる。

引き続き、需給の引き締まった状況が想定される。しかし、供給面が相場を支えるだろうが、押し上げるほど需要面が強くない。中国経済の減速など先々の景気は良くないとみられ、弱い需要見通しから供給不足であってもアルミの上値は重そうだ。

価格を見れば今の1700㌦付近は2014年にいったん下げ止まった水準でもあり、良いところまで調整が入ったとの印象を持つ。ただアルミ市場への資金流入は期待しづらい。そこまで米景気が悪くない中で追加利下げが行われるのであれば、投機資金は株式市場に向かうだろう。

アルミ

基本的にはアップサイドへ

マーケット・リスク・アドバイザリー 代表取締役 新村直弘氏

ロンドン金属取引所（LME）の3カ月物は、トン1700―1900㌦を予想する。どのタイミングで投機筋の買い戻しが入るかにもよるが、場合によっては瞬間的に2000㌦の大台を試す場面もあり得る。

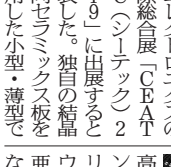
基本的にはアップサイドとみる。来年の大統領選挙を前に米国が無理に景気を作りにいく可能性があるためだ。米国が利下げの方向性を明らかにするなどの強材料が出てくれば上昇が期待できる。投機筋によるアルミの売り越しは記録的な水準となっており、ファンドの決算期に向け買い戻してくる可能性がある。

昨年に米中貿易戦争が始まると、非鉄金属は投機筋のポジションが売り越しとなった。今年に入り景気刺激策への思惑が浮上し大きく買い戻されたが、再び米中貿易戦争が激しくなった5月ごろから売られてきた。

こうした上昇の前に、いったん下押すとはみている。英国の欧州連合（EU）離脱は無視できない。

アルミ

自動車販売減で需給悪化



東京アルミセンター 社長 江川壮一氏

ロンドン金属取引所（LME）のアルミ3カ月物は、トン1700―2000㌦を予測する。半年前の予想時から大きく変わったことは、先進国や中国などで自動車販売台数の落ち込みが顕著なこと。アルミ需要の減少にもつながっている。逆に、アルミ相場が下落トレンド継続中であることは変わっていない。

相場は基本的に予測レンジの下限である1700―1900㌦で推移しそうだ。当初、今年のアルミ需給は供給不足との見通しだったが足元の需給はフラットの方向とみる。自動車販売台数の落ち込みによるアルミ需要減が大きい。

需給悪化だけでなく、アルミを取り巻く環境にも改善が見られない。米中貿易摩擦や英国の欧州連合（EU）離脱、世界的な景気減速懸念などの不透明感は、依然として半年前からくすぶったままだ。

自動車販売台数のさらなる落ち込みに加え、中東を巡る地政学的リスクがさらに悪化すれば、予測レンジを下回ることもあり得る。

アルミ

1700―1900㌦で軟調地合い

橋本アルミ取締役 橋本健一郎氏

LME3カ月先物の予想レンジはトン1700―1900㌦で上期に比べて弱含みで推移する。焦点は①米中貿易戦争動向②英国の欧州離脱問題③中国景気の動向の3点。

米中問題は、中国企業の上場廃止や米国の対中証券投資の制限を米財務省報道官が否定しており、米中の閣僚級協議が10月第2週に開かれる見通しということもあり過度な懸念は後退した。ただ、習主席が建国70年となる国慶節で米国を牽制する発言など、早期解決の可能性はない。

英国関連は、ジョンソン首相の強硬姿勢が「合意なき離脱」で悪影響を懸念する保守党議員との間に摩擦を生み、議会の採決で造反者を出す結果になった。一方、7月の党首選で同氏を選出した離脱派の党員たちの間では共感を呼ぶなど混乱が続く。

中国景気は9月製造業購買担当者景気指数が事前予想を上回ったことなど明るい材料はあるが、米中貿易戦争が続く以上、景気後退は避けられず、じりじり景気後退する。

金

米国内情勢次第、1400―1600㌦

佳龍科技 広報担当兼 戦略アドバイザー 陸怡豪氏

下期の金国際相場はトロイオンス当たり1400―1600㌦のレンジで推移が予測される。今後は米国内情勢次第と考えられる。特にトランプ大統領が再選についてどのように考え、対応を取るかによって変化してくるだろう。

トランプ大統領が再選への自信を深め、国内外の問題に正攻法で対処した場合には、金利引き下げがあったとしても、相場への影響は限定的な動きにとどまるとみられる。ただ、底値はしっかりとした動きが予測され、1400㌦は固いものとみられる。

ただ再選を不安視し、イランや中国との紛争激化や欧州や日本との貿易問題で難題を持ち出し始めると、世界経済の先行きを不安視する見方が広がり、金相場も1750㌦まで上値を上げる可能性が出てくる。年内には動きが鮮明になってくるとみられる。

また、台湾製造業における内需については相場高騰で中堅の需要家を中心に金から代替品に切り替える動きが見られる。

GBAセッション東京で11日開催

環境省

環境省は8日、グローバル・バッテリー・アライアンス（GBA）に関し、世界経済フォーラムと同省による特別セッションを11日に国際連合大学（東京都渋谷区）で開催すると発表した。リチウムイオン電池などの高性能バッテリーの原料である様々な環境問題などについて、ディスカッションが行われる。入場無料。

電気自動車に搭載するリチウムイオン電池などの高性能バッテリーは、持続可能な社会の実現のため、今後より一層の普及拡大が見込まれている。しかし、バッテリーの製造過程自体に環境負荷があることや、原料であるレアメタルの採掘による環境破壊、採掘の際の児童労働など問題が山積している。そうした問題を解決しバッテリーの役割をより強化させるために、世界経済フォーラムは民・官・国際機関などを集めGBAを立ち上げ、今回趣旨に賛同した同省とともに特別セッションを行う。

なお、今回のセッションは8―11日に開催されるG20資源効率性対話のサイドセッションとして行われる。参加申し込みは、10日までに所属・名前・連絡先を明記の上、電子メール＝hairi-recycle@env.go.jpまで。

シーテック2019に日本ガイシ出展

15―18日開催

日本ガイシは、15―18日に幕張メッセ（千葉市）で開催されるIoT、AIを活用した産業創出を目指すITとエレクトロニクスの国際総合展「CEATEC（シーテック）2019」に出展すると発表した。独自の結晶配向セラミックス板を使用した小型・薄型で高容量なリチウムイオン電池「エネセラ」シリーズや窒化ガリウムウエハー「FGAN」、亜鉛二次電池「ZNB」などを紹介する。

ブースイメージ

港別のLME非鉄金属在庫

（単位：トン）

	9月27日	10月4日
▽銅	264,425	285,600
デュバイ	0	0
アントワープ	550	550
ハンブルク	1,625	1,625
バルセロナ	0	0
ビルバオ	1,225	6,200
ハル	275	275
リバプール	800	800
レグホーン	0	0
トリエステ	14,950	16,450
仁川	50	50
光陽	4,400	5,125
釜山	60,175	65,750
ジョホール	850	850
クラン	1,100	1,100
ロッテルダム	81,300	93,825
プリッシンゲン	750	750
ヘルシンゲボリ	0	0
シンガポール	5,875	5,875
ポルティモア	0	0
シカゴ	13,900	13,875
モービル	25	25
ニューオーリンズ	32,075	33,075
セントルイス	0	0
高雄	44,450	39,350
米パナマ	0	0
ムールデイク	50	50
▽アルミHG	927,475	964,225
アントワープ	5,975	5,975
ブレーメン	0	0
ハンブルク	14,975	14,175
バルセロナ	0	0
ビルバオ	9,850	9,575
ハル	0	0
リバプール	0	0
タイン＆ウェア	0	0
ジェノア	0	0
レグホーン	0	0
トリエステ	4,475	3,800
名古屋	0	0
横浜	0	0
釜山	1,900	1,775
光陽	40,350	57,150
仁川	200	200
ジョホール	106,600	108,575
クラン	433,525	430,525
ロッテルダム	158,275	156,775
プリッシンゲン	39,225	39,225
ヘルシンゲボリ	0	0
シンガポール	106,200	130,575
ポルティモア	3,525	3,525
シカゴ	0	0
デトロイト	1,425	1,400
ロングビーチ	0	0
ロサンゼルス	0	0
モービル	0	0
ニューオーリンズ	875	875
セントルイス	0	0
米トレド	0	0
オーエンズボロ	0	0
高雄	100	100
ムールデイク	0	0
アムステルダム	0	0
▽ニッケル	157,986	125,688
デュバイ	9,966	8,964
アントワープ	312	312
ブレーメン	0	0
ハンブルク	0	0
バルセロナ	0	0
ビルバオ	0	0
ハル	0	0
リバプール	3,468	3,468
タイン＆ウェア	0	0
ジェノア	6	6
レグホーン	0	0
トリエステ	0	0
釜山	4,614	4,812
光陽	90	90
仁川	0	0
ジョホール	32,034	21,606
クラン	1,002	882
ロッテルダム	28,776	28,200
プリッシンゲン	9,798	8,532
ムールデイク	15,564	16,500
ヘルシンゲボリ	0	0
シンガポール	20,244	12,372
ポルティモア	1,728	1,716
シカゴ	0	0
デトロイト	0	0
ロサンゼルス	0	0
モービル	0	0
ニューオーリンズ	378	378
セントルイス	0	0
米トレド	0	0
高雄	30,006	17,850
アムステルダム	0	0
▽鉛	69,650	69,100
デュバイ	0	0
アントワープ	12,100	11,600
ブレーメン	0	0
ハンブルク	0	0
バルセロナ	2,925	2,925
ビルバオ	4,250	4,250
ハル	0	0
リバプール	0	0
タイン＆ウェア	0	0
ジェノア	0	0
レグホーン	5,850	5,800
トリエステ	1,275	1,275
釜山	5,725	5,725
仁川	0	0
高雄	21,675	21,675
ジョホール	0	0
クラン	25	25
ムールデイク	1,650	1,650
ロッテルダム	11,800	11,800
プリッシンゲン	2,375	2,375
ヘルシンゲボリ	0	0
シンガポール	0	0
ポルティモア	0	0
シカゴ	0	0
デトロイト	0	0
ロングビーチ	0	0
ロサンゼルス	0	0
モービル	0	0
ニューオーリンズ	0	0
セントルイス	0	0
米トレド	0	0
▽亜鉛	67,300	64,325
デュバイ	575	575
アントワープ	275	100
ハンブルク	25	25
ブレーメン	0	0
バルセロナ	0	0
ビルバオ	2,450	2,450
ハル	0	0
リバプール	0	0
タイン＆ウェア	0	0
ジェノア	0	0
レグホーン	0	0
トリエステ	0	0
ジョホール	8,100	8,100
クラン	0	0
ムールデイク	50	50
ロッテルダム	3,625	2,900
プリッシンゲン	14,575	13,400
ヘルシンゲボリ	0	0
シンガポール	1,325	1,325
高雄	8,850	8,850
ポルティモア	0	0
シカゴ	0	0
デトロイト	0	0
ロングビーチ	0	0
ロサンゼルス	0	0
モービル	0	0
ニューオーリンズ	27,450	26,550
セントルイス	0	0
米トレド	0	0
▽錫	6,855	6,775
アントワープ	0	0
ハンブルク	0	0
バルセロナ	0	0
ビルバオ	0	0
ハル	0	0
リバプール	0	0
タイン＆ウェア	0	0
ジェノア	0	0
トリエステ	0	0
釜山	5	5
光陽	0	0
ジョホール	0	0
ポートクラン	2,520	2,555
ロッテルダム	100	100
プリッシンゲン	0	0
シンガポール	2,980	2,880
ポルティモア	1,085	1,070
ロサンゼルス	0	0
モービル	0	0
ニューオーリンズ	0	0
高雄	165	165
アムステルダム	0	0
▽アルミ合金	6,780	6,340
アントワープ	1,100	1,060
ブレーメン	0	0
ハンブルク	0	0
バルセロナ	0	0
ビルバオ	0	0
ハル	0	0
リバプール	0	0
タイン＆ウェア	0	0
ジェノア	0	0
レグホーン	440	440
トリエステ	2,320	2,020
釜山	0	0
光陽	0	0
仁川	0	0
ジョホール	0	0
クラン	0	0
ロッテルダム	700	700
プリッシンゲン	20	20
シンガポール	2,200	2,100
高雄	0	0
アムステルダム	0	0
▽北米特殊アルミ合金	65,180	63,760
ポルティモア	3,420	3,400
シカゴ	20,780	20,620
デトロイト	12,960	12,440
ロングビーチ	0	0
ロサンゼルス	0	0
モービル	760	760
ニューオーリンズ	27,240	26,520
オーエンスボロ	20	20
セントルイス	0	0
米トレド	0	0